

# いながわ特派員報告



## 春近し、猪名川町お花見情報

3月半ばになり、日一日と春の気配が感じられるようになりました。  
 春の花といえば桜。長い冬がようやく終わり、少しずつ暖かくなってきた頃に咲く桜は、私達に明るい春の到来を告げる花です。また数ある花の中で桜ほど昔から日本人に愛され、親しまれ、賞されてきた花は他にないと思います。  
 全国各地に多くの桜の名所がありますが、猪名川町も負けてはいません。今回は町内のお花見情報をお届けします。



猪名川変電所の周りを薄紅色に染める見事な桜

### ①関西電力猪名川変電所 (鎌倉)

昭和48年、変電所ができた時、ソメイヨシノをはじめ約400本の桜が植えられました。猪名川変電所木村所長は「見頃は、毎年都心部より1週間ほど遅いようです。山あいに咲き誇る満開の桜は見ごたえがあります。」と話されていました。

### ②猪名川公園 (清水)

昭和48年にシダレザクラ、ソメイヨシノ、ボタンザクラが500本～550本植えられました。

### ③猪名川勤労者総合スポーツ施設 (木津)

県道からスポーツ施設へ向かう道沿いにソメイヨシノが続きます。

### ④屏風岩 (北田原)

屏風岩に桜が映え、まるで絵を見ているようです。

### ⑤総合公園 (白金)

ソメイヨシノ104本、ヤマザクラなど56本が植えられています。お弁当を持ってのんびりするにはもってこいの場所です。

### ⑥大原公園 (若葉)

ソメイヨシノ55本、ヤマザクラ45本が植えられ、遊具、グラウンドもあり散歩に最適。

### ⑧伏見池公園 (伏見台)

昭和58年、公園に14本、公園に続く遊歩道に100本以上のソメイヨシノが植えられました。木が大きくなり見ごたえがあります。

### ⑨紫合から日生中央へ続く県道沿い

約200本のソメイヨシノが植えられています。

### ⑩原広根線と原川(松尾台4丁目)の土手

道路の両側に450本、原川の松尾台側の土手に150本のソメイヨシノが植えられています。松尾台在住の山崎祥子(写真左)さん、岡島恵さん(写真右)からお話を伺いました。「この土手は桜と一緒にツバキも楽しめるんですよ。子どもが小さい頃、シートを敷いてお花見をしたものです。今では懐かしい思い出です。ここは本当に素晴らしい桜並木で、毎年とても楽しみにしています。」とお二人の言葉。



### ⑦さくら池公園 (白金)

町内で唯一さくらの名が付いた公園。その名のとおりソメイヨシノ、シダレザクラ、ヤマザクラ、ヤエザクラ、サトザクラなど227本の桜があります。品種によって桜の開花時期が異なるので、長い間桜が楽しめる公園です。桜の時期は平日でも、お弁当を広げる人の姿が多く見られます。

この公園では毎年、白金自治会による「さくら祭り」が行われています。白金自治会長の増崎昭夫さんより「今年は4月13日(土)、午前10時30分から開催します。模擬店やフリーマーケットも出店します。桜を鑑賞しながら楽しい一日を過ごされてはいかがでしょうか。白金自治会以外の人でも、ぜひお越しください。お待ちしております。」とお話いただきました。

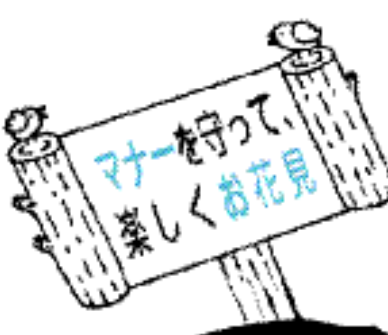
#### ソメイヨシノの話

日本の桜はソメイヨシノ、ヤマザクラ、イヌザクラ、マメザクラ、ミヤマザクラなど、300品種以上あると言われています。昔は桜を育てる技術がなかったため、ソメイヨシノが最もよく知られ親しまれてきました。ソメイヨシノは江戸時代末期に、江戸築井村(現在の東京都豊島区駒込)の植木屋によって野生種のエドヒガンザクラとオシマザクラを交配させて作られたものです。初めは見事な桜の代名詞として「吉野桜」と呼ばれていましたが、有名な奈良の吉野の桜と区別するために、産地の染井の名を付けて「染井吉野」と名付けられた。花が先に咲き、花つきがよく、成長が早い。明治になってから全国に広まっています。



町内には桜の美しい所が数多くあると思いますが、今回は代表的な所を紹介させていただきます。

取材した時期は2月とまだ寒く、桜の木も寒々しい感じでしたが、もう2週間もするとつぼみがふくらみ、花が咲き始めます。自然の営みの大きな力を感じます。今年の開花予想は平年より1週間ほど早いとの予想が出ています。



春はもうすぐ。今年は広報を片手に町内の桜巡りはいかがでしょう。  
 【いながわ特派員】